

2020. 7. 9

## 職場環境は会社の質を語る。

先日、店長向けの研修を行いました。

普段店長会で限られた時間の中で、細切れにして伝えていた事を。

ある程度まとめて出来たので伝えたいことの全体像がわかり易がたのではないのでしょうか？  
自分自身、何を、どのような順に伝えたいのか？と向き合う事で頭の中が整理されました。  
また近いうちに、第二弾を行えたらと思います。

それまでの間、1回目で学んだ事を実践して欲しいと思います。

鮮明に思い描けたであろう、『理想の店と自分像』に近づく努力です。

行動に移して初めて研修の意味が發揮されますから、暫く状況を店長会でも確認したいと思います。

さて、この度弊社で人を半年間預かる事となりました。

北海道の、ダスキンの加盟店の社長の御子息です。必ず社長を引き継ぐ予定だそうです。

うちの会社に声がかかるなんて、何かの間違いでは？と思いました。

新宿店の営業絡みで、お客様を紹介したのがきっかけでしたが、先方の社長がその営業担当の考え方に感心し、会社の考え方にも強く共感されたといのです。

もと相応しい会社はあるし、とても人様を預かれるような理想的な会社にはまだなっていない  
と思いましたが、「人を育てる」というテーマにずっと向き合っていく中で、これは良い勉強になる  
と感じました。全店に研修に行く事は無いかもしれませんが、関わるお店には本気で  
取り組んでいただき、今後社内でも幹部候補を生出す為の学びの場になってくれたら  
嬉しく思います。7月21日に来社される予定です。

さて、迎え入れる準備にあたり、以前、「環境が人を育てる」が「掃除や整理整頓が  
環境を良くする」と通信で書いた事を思い出していた気がします。

掃除や整理整頓は、業務に支障が出ない程度に行なう。ついでの仕事ではなく、  
まず掃除や整理整頓が出来たら、はじめて仕事をする環境が整う。という事でしたが  
その後、深まってるでしょうか？

『この程度であれば充分だ』という環境で働くなら、お客様からもこの程度かと  
思われる仕事しか提供出来ません。それが人の心を動かし、目標とされる事があるでしょうか？  
環境整備 なくて 事業無し という言葉がありますが、環境整備こそが  
すべての活動の原点であるという意味のようです。  
環境の良し悪しが事業の存続を左右するのです。

2020. 7. 9.

No2

M&Aで視察する時は、トイレを見ると会社の質がどの程度か読みとれる。とも言われているほど。環境は会社を語るのです。

働いている人の心の状態が環境に出てくるからです。

建物の新しさ、立派さは関係ありません。どこだけ手が入れられているか、大事なのです。今弊社で店ごとにバラツキがあるのは私の実力不足が一番の原因だと痛感しています。

覚悟を持って、いつも、どの店に行っても隙が無く磨き上げられ、整理整頓が行き届いている環境整備を行いたいと思います。

掃除や整理整頓は、これを行った人の心に革命を及ぼす。

如何なる社員教育も、どんな道徳教育も、足許にも及ばない...と。

市倉定は書き残しています。

やはり、環境整備が〜加減な会社が一流になっているのを見つけた事はありません。

環境整備の努力を払っている所が働いている人皆活気があり、成績も良いのは社力もよわかります。

最近、11月21日船橋の事でエリアマネージャーよりお褒めの言葉をいただきました。

南関東エリアの模範店として見学ツアーが計画されているようです。

働いている人全員（事務、営業、倉庫）が指示を受けるわけでもないのに、「もっと綺麗にならないか？」  
「もっと見やすく、整理整頓できないか？」と考ていつも工夫している所が凄いです！！これが理由だと思います。

もちろん、アイデアも褒めておられました。本当は嬉しいことです。

店長研修も、社員教育も、環境整備という土台あてのものなのかもしれません。

そうであれば、社長も、それ以外も、預かった人であろうと、皆が環境整備に取り組む。

清々しい気持ちで、嬉しく楽しく働くのが理想的ではないでしょうか？

冒頭で述べた理想の店と自分作りのテーマとして是非取り組みましょう。

経済活動が低迷し続ける中でも、おての会社がこれを実行できます。

選ばれる人、店を生み出し、強い会社を作る近道ではないでしょうか？